

令和3年度 デイサービスセンターかがみいし 事業報告書

1.事業運営の概況

延利用者数は2,045人、年間稼働率は65.9%となり、前年度比は13.0ポイント下回った。身体機能が低下された利用者様の利用中止が相次いだ。また新規利用者の獲得が思うように出来なかつた。現在利用されている方のショートステイの併用で利用日数が減っていることも稼働率が低下した一因となっている。

2.事業計画実施状況

(1) 堅実な事業運営

① 利用率の向上を図る

令和3年度もコロナウイルス感染予防のため、居宅介護支援事業者への訪問は積極的におこなえなかつたが電話連絡やFAX送信等の手段で空き情報を伝え営業活動をおこなつた。また、利用者、家族の要望等をケアマネジャーと話し合い、可能な限り受け入れ、車椅子使用等の利用者様も受け入れるよう努めた。

② 機能訓練の充実

機能訓練指導員のもと、室内だけでなく室外の環境を使った機能訓練を実施し、利用者個別の指導ができた。また、毎月の体重測定により、利用者様の身体状況等を把握し、状況にあつた訓練を実施できた。

③ 農トレでの介護予防

サツマイモの苗付け、収穫を鑑石園デイサービス合同で行い、収穫の喜びを味わつた。また、収穫した野菜を使った芋煮会や焼き芋大会を開催し、それぞれを美味しく頂いた。

草取りや収穫を手伝っていただくことで役割ができ、かがみいしに来る目的を提供させていただいた。

④ サービスの質の向上

利用者様の対応について職員間で話し合い数種類の方法を挙げて実行した。そうすることで一つのやり方にこだわらずより良い対応をすることができた。

⑤ 通所介護計画に沿ったサービスを行う

利用者本人及び家族からの要望を汲みとり、個別通所介護計画を作成し、職員全員に周知しサービスを提供した。

⑥ 職員が働きやすい環境作り

小さい事柄でも職員間で連絡、報告をするよう徹底し情報共有に努めた。また、利用者様の対応に関する提案等は初めから否定せず実際に提案通りにおこなってから検証した。

(2) 介護力向上に向けた取り組み

① 職員の質の向上

内部研修を月に一度実施して職員一人ひとりの介護力向上に努めた。また、職員同士で目標を出しあい、ミーティング時に話し合った。前年に続き1名、ケアマネジャーの試験に合格することができた。

② ヒヤリハットの活用

ヒヤリハットの内容を、その都度話し合った。またミーティングでも改善策を講じた。

(3) コスト削減への取組み

エアコン、電気、水道、紙類のコスト削減について職員一人一人が意識し、お互い注意し合えるようになった。

(4) 地域との連携強化について

① 地域行事への参加

引き続き、コロナウイルス感染予防のため、今年度は地域行事の参加は控えた。

② 地域への積極的な情報発信

広報紙の有効活用や運営推進会議で施設内の様子やサービス内容について情報発信した。

運営推進会議(8月・3月開催)には利用者様や家族の他、地元の町内会長、民生委員の方々に情報を発信するとともにアンケートを実施して意見を伺った。今年度はコロナウイルス感染予防のため、書面にてご意見をいただいた。

③ ボランティアの充実

コロナウイルス感染予防のため、ボランティアの方々には訪問を控えていただいた。

(5) 危機管理意識の向上

① 非常災害時対策について

年に2回防災訓練をおこなった。災害時対応の再確認をおこない防

災意識の向上に努めた。また、防災グッズの確認をおこない不足しているものを新たに買い足し、災害時に備えた。

② 安全運転

安全運転を心がけ、事故を起こさなかった。一度パンクしてしまったが、怪我することなく迅速に対応することができた。

③ 感染症に対する意識向上

定期的に内部研修をおこない、感染症の知識を得ることができた。

基本的な手洗い、うがい、マスク着用を徹底して、一人も感染症にならなかつた。

令和3年度 職員外部研修参加状況

参加延人数	主な研修
1	機能訓練・運動レク質向上セミナー

令和3年度 内部研修参加状況

研修日	研修名	講師	参加人数
4月16日	接遇について	センター長	4
5月13日	機能訓練について		4
6月11日	食中毒について		4
7月16日	熱中症について		4
8月9日	スピーチロックについて		4
9月10日	AEDの使用方法について		4
10月15日	ノロウイルス対策について		4
11月12日	冬の体調管理について		4
12月17日	感染症対策について		4
1月14日	応急処置について		4
2月18日	送迎時の注意点について		3
3月11日	食事介助の注意点について		4